

虚数に出会わなければ、人類は発展しなかった

2022

4

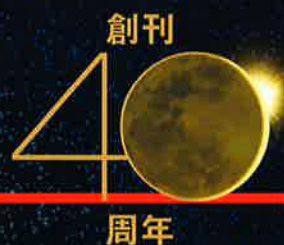
GRAPHIC SCIENCE MAGAZINE ニュートン
Newton

緊急レポート
トンガ巨大噴火

モチベーションの心理学

いま話題のNFTがゼロからわかる

失われゆく野生動物——最新レッドリスト



虚数

イマジナリー ナンバー

第2特集 大発明でたどる **化学再入門**

定価 1,190円(税込)

LGBTQの科学知識

「心の性の多様性」を正しく理解するために

私たちの社会は、年齢や国籍、宗教、話す言語、価値観などがことなるさまざまな人たちで構成されている。個人のさまざまなちがいが、すなわち多様性の一つに「性の多様性」がある。「LGBTQ」として知られる性的マイノリティの人たちは、少数派であるがゆえに社会で十分な理解を得られず、苦しんできた。LGBTQの正しい知識を得ることは、誤解や偏見をなくすための第一歩だ。LGBTQに関する医学・生物学的な研究や診療の最新情報を専門家に聞いた。

監修 康純 関西大学保健管理センター長

性的マイノリティの人たちを示す「LGBT」あるいは「LGBTQ」という言葉は、広く知られるようになった。同性愛・両性愛の人たちや、生まれたときに決められた性別と自身が認識する性別がことなる人たちがいることは、今では知らない人はほとんどいないだろう。

LGBTQは、Lesbian（女性の同性愛）、Gay（男性の同性愛）、Bisexual（両性愛）、Transgender（出生時の性別と自身が認識する性別がことなる）、Queer（あるいはQuestioning（性のあり方が既存の枠組みにあてはまらない、あるいはわからない）の頭文字をとった言葉である。体の性（生物学的な性）、心の性（ジェンダーアイデンティティー、

性自認）、好きになる性（性的指向）、戸籍上の性など、さまざまな性（性別）が関係してくるため、これらの用語にとまどう人もいるかもしれない。92ページにイラストを使った解説があるので参考にしてほしい。

性同一性障害 (GID) から性別不合 (GI) へ

かつては男性の同性愛が「ホモ」とよばれることがあった。そもそもは同性愛全般を示す「ホモセクシュアル」の略であるが、男性の同性愛を示す言葉として使われることが多かった。しかし侮蔑的なひびきが含まれるという声があり、今はゲイと

よばれる。なお、ホモは「同じ」という意味の接頭語であり、対義語は「ことなる」という意味をもつ「ヘテロ」である。異性愛は「ヘテロセクシュアル」という。

身体的な性別と自身が認識する性別がことなることに違和感をもち、苦しんでいる状態は、「性同一性障害 (GID: Gender Identity Disorder)」とよばれてきた。しかし、2022年1月からこの用語は使われなくなり、「性別不合 (GI: Gender Incongruence)」とよばれることになる。

これはWHO（世界保健機関）がまとめる疾患名のリストである「国際疾病分類 (ICD)」の改訂にもなるものだ。ICDには、がんや感染症な

どのあらゆる疾患が網羅してある。日本でも疾患名を表記するときは、このICDに準拠する。最新の第11版 (ICD-11) で、かつて性同一性障害とよばれていたものが性別不合に変更された。日本でICD-11が適用されるのが2022年1月からであるため、性同一性障害の呼び方もこのタイミングで性別不合に変更になるのだ。

実は性同一性障害と性別不合には、もう一つの呼び方がある。それは「性別違和 (GD: Gender Dysphoria)」だ。この名称はアメリカの精神医学会がまとめる「精神疾患の診断・統計マニュアル (DSM)」に書かれたものである。2013年に改訂された最新の第5版 (DSM-5) において、性同一性障

害から性別違和に変更になった。日本でも性別違和とよばれることがあるが、厚生労働省が採用している名称はICDの性別不合である。そのため、この記事では基本的に性別不合と表記する。

LGBTQは病気ではない

性同一性障害の名称変更は、たんに呼び方が変わるということにとどまらない。「LGBTQは病気（疾患）ではない」とする世界的な意識の変化にとまなうものなのだ。

かつて同性愛や性別不合は、正常ではない状態であり、治療すべき病

気（精神疾患）であるというあつかいだった（93ページのコラム参照）。しかし近年の医学・生物学的な研究の進展により、同性愛や性別不合は性に関する多様性の一種であり、病気ではないという考え方が主流になってきた。疾患名のリストも、その考え方に沿って改訂されたのだ。

ICD-11における性別不合は疾患 (disorder) ではなく、状態 (condition) に分類されている。性別不合は、身体的な性と自身が認識する性の不一致がもたらす苦痛を解消するために手術などが必要になる場合がある。性別不合も同性愛などと同様に基本的には疾患ではないものの、医療のサポートを得るために、性別不合に